

静岡県熱海市における 令和3年7月1日からの大雨に係る災害派遣について

令和3年7月26日
防衛省

概要	○ 7月3日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生。同日1230、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。 ○ 7月26日（月）現在、自衛隊は、<u>約570名</u>の態勢をもって、被災現場に<u>約220名</u>、重機<u>8両</u>を投入し、警察・消防と連携して人命救助活動等を実施。
活動実績	人命救助活動等【7月3日～25日】 ○ 被災現場における活動人員等：<u>延べ約8,610名</u> ○ 活動部隊：陸上自衛隊第34普通科連隊(板妻)、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊(朝霞)、第1戦車大隊(駒門)、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等 ○ 使用装備：重機16両(最大時)、ヘリ（UH-1）2機(最大時)、全天候型ドローン7機(最大時)、災害救助犬5頭(最大時) 等 ○ 救助実績：<u>16名</u>（うち12名について警察により死亡を確認） ○ 道路啓開：国道135号線及び活動地域付近の道路上に堆積した土砂等を除去し、<u>計約1,020m</u>を啓開
本日（26日）の活動	引き続き、以下の活動等を実施 1 人命救助活動 0600以降、<u>陸上自衛隊第34普通科連隊（板妻）</u>、<u>第1施設大隊（朝霞）</u>等の人員<u>約210名</u>により、<u>重機8両</u>（掩体掘削機×1、小型ドーザ×6、バケットローダ×1）を用いた人命救助活動等を実施。 2 連絡員の派遣 静岡県庁に2名、熱海市役所に2名、伊豆山現地本部に4名の連絡員を派遣。

活動状況（熱海市）



搜索活動(第34普通科連隊)



搜索活動(第34普通科連隊)



搜索活動(第34普通科連隊)



搜索活動(第1施設大隊)